

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

2002年度 事業報告書
収支決算書

期間：2002年7月1日～2003年6月30日

2003年9月6日

2002年度 事業報告書

I. センターの運営に関する事項	2		
1. 通常総会の開催	2	3. ネットワーキングサポート	30
2. 理事会の開催	2	(1) センダードサロンの開催	30
3. 評議員会の開催	3	(2) PONPO-NETの開催	31
4. 会員について	5	(3) 各地NPO推進機関との連携	31
5. 事務局について	7	4. 情報サポート	33
6. 職員・ボランティアスタッフについて	7	(1) NPO情報ライブラリー	33
		(2) 情報の収集	33
		(3) 情報の発信	33
		(4) 書籍販売「みんな堂」	34
		(5) 各種取材への協力	34
II. センターの事業に関する事項	9	5. 調査・研究・コンサルティング事業	34
1. 政策提言(アドボカシー)活動	9	(行政・企業向け講師派遣・相談)	
(1) NPO税・法人制度改正関連	9	(1) 人財サポートプログラムの実施	34
(2) 地域のNPO政策に対する提言	11	(2) 地域貢献活動相談センターの設置	38
(3) 個別分野における政策提言サポート	12	(3) みやぎ地球市民すくすく計画への講師派遣	38
(4) その他	12	(4) まち美化に関する市民活動推進のための支援事業	38
2. マネジメントサポート	13	(5) クリーン仙台推進委員グループ学習会	39
(相談・講座・NPO向け講師派遣)		(6) アクティブシニア・ビジネス支援事業	40
(1) VOICE OF NPO PROJECTの企画・実施	13	(7) 東北パートナーシップに向けての	
(2) コミュニティ・ビジネス開発講座の企画・実施	17	支援環境形成調査	41
(3) みやぎNPO支援センターネットワーク	18	(8) その他自治体職員向け研修・講師派遣	40
(4) NPOパワーアップフォーラムの企画・実施	24	6. 特別事業	43
(5) 情報発信パワーアップ講座の企画・実施	24	(1) サポート資源提供システムの運用	43
(6) NPOマネジメント基礎集中講座の実施	25	(2) 仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営	56
(7) NPO講座とNPO法人のための		(3) 5周年記念事業	58
実務講座の企画・実施	26		
(8) 平成14年度地域版ボランティアパワーアップ	26		
(9) 地域情報化推進事業	26		
(10) その他、講師派遣一覧	27		
(11) NPO経営相談	29		

2002年度 収支決算書

こちらのページをご覧ください

http://www.minmin.org/Whats_se_mi/yosankessan.htm

I . センターの運営に関する事項

1 . 通常総会の開催

(1) 第 4 回通常総会

日 時：2002 年 9 月 8 日（日）14：00～16：00

会 場：宮城県民会館 6 階中会議室

議 事：2001 年度の事業報告および決算の承認
2002 年度の事業計画および予算の審議・決定
理事・監事の選任

出席者数：正会員 - 出席 26 名、委任状提出 62 名、合計 88 名（正会員 132 名中）

(2) 記念セミナー

日 時：2002 年 9 月 8 日（日）16：00～17：30

会 場：宮城県民会館 6 階中会議室

テーマ：コミュニティ・ビジネスを活かしたまちづくり
～地域循環をつくりだす市民の新しい挑戦～

ゲスト：千葉 裕貴氏 なかやま商店街振興組合 専務理事
(株)ビューティサロン フレンド 代表取締役
木村 孝氏 (特活) 不忘アザレア 事務局長
木村屋旅館 代表取締役

コメンテーター：川村 志厚氏 経営デザイン研究所 代表

コーディネーター：紅邑 晶子 当センター常務理事・事務局長

参加者数：46 名

* 参考資料：事務局通信「みんな」Vol. 29 に内容掲載。

2 . 理事会の開催

2002 年 7 月～2003 年 6 月：12 回開催。

第 37 回理事会

日時：2002 年 7 月 25 日（木）18：30～20：00

会場：せんだい・みやぎ NPO センター

・ 2001 年度決算、事業報告について

・ 第 4 回通常総会について

・ 次期改選に向けて、評議員・理事候補
について

・ サポート資源提供システム本格運用に

ついて

- ・ 5周年事業企画について
- ・ NPOパワーアップフォーラムについて
- ・ 慶弔規程案の改定について
- ・ 理事謝金について
- ・ 入退会者承認

第 38 回理事会

日時：2002 年 8 月 20 日（火）18：55～21：20

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ 2002 年度事業計画（案） 収支予算（案）について
- ・ 理事候補、監事について
- ・ 就業規則について
- ・ 入退会者承認

第 39 回理事会

日時：2002 年 9 月 8 日（日）11：30～12：30

会場：宮城県民会館 305 会議室

- ・ 総会の議事確認について
- ・ 入退会者承認

第 40 回理事会

日時：2003 年 10 月 17 日（木）18：35～20：40

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ 5周年事業について
- ・ 理事合宿について
- ・ 入退会者承認

第 41 回理事会〔理事合宿〕

日時：2002 年 11 月 15 日（金）・16 日（土）

会場：バーデン家 壮鳳（刈田郡蔵王町）

- ・ 今後 3 年間の中期戦略について
- ・ スタッフ育成について
- ・ 年俸制の検討について
- ・ 業務上での車の使用について
- ・ 慶弔規程について
- ・ 入退会者承認

第 42 回理事会

日時：2002 年 12 月 17 日（火）18：45～20：15

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ 来年度の事業方針について
- ・ 慶弔規程について
- ・ 入退会者承認

第 43 回理事会

日時：2003 年 1 月 21 日（火）18：30～22：00

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ 年間スケジュールについて
- ・ 2003 年の事業構想について
- ・ 入退会者承認

第 44 回理事会

日時：2003 年 2 月 14 日（金）18：50～21：45

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ サポート資源提供システム
- ・ コミュニティ・ビジネス実践研究会の立上げについて
- ・ 入退会者承認

第 45 回理事会

日時：2003 年 3 月 19 日（水）19：05～21：05

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ 協働事業の提案について
- ・ 公益法人制度改革についての意見表明
- ・ 入退会者承認

第 46 回理事会

日時：2003 年 4 月 19 日（土）11：00～16：00

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ プロジェクトと人事について
- ・ 地域貢献サポートファンドについて
- ・ 当センターの財政・資金調達について
- ・ 人材の受け入れについて
- ・ 入退会者承認

第 47 回理事会

日時：2003 年 5 月 22 日（水）18：45～20：40

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

- ・ サポート資源提供システムについて
- ・ 事業担当について
- ・ 入退会者承認

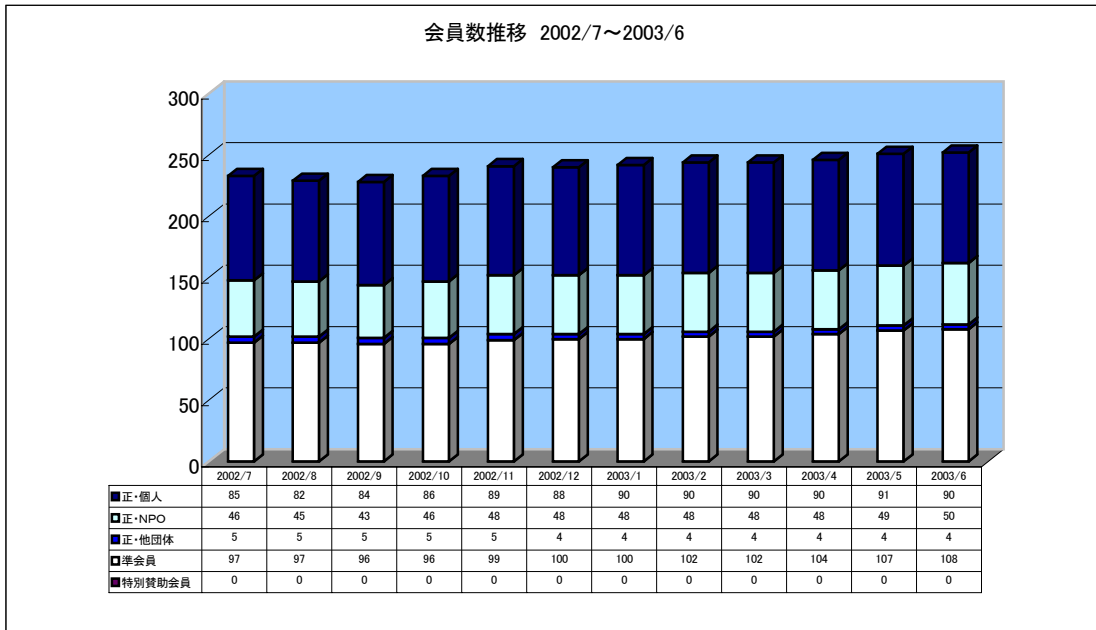
4. 会員について

(1) 2002年度の会員数の変動

2002年7月期 会員総数 233 団体・個人

2003年6月期 会員総数 252 団体・個人 (+19)

「正会員・その他団体」を除いて、増加傾向にある。



(2) 会員拡大キャンペーンの実施

キャンペーンの実施により会員増強につとめた。

期 間：2002年9月8日(日)~10月31日(木)

新規入会者総数 ... 正会員：9口 準会員：6口

仙台市市民活動サポートセンター勤務（仙台市青葉区本町）

センター長：1名 青木ユカリ

副センター長：1名 松尾 敏行

常勤職員：9名 遠藤 孝志・工藤 寛之（～'03.4）・菅野 郁美・
田中 聡子・中津 涼子・中務 恵美・畠山未津留・
布田 裕子・真壁さおり（'03.4～）・松尾 敏行

非常勤職員：4名 小口 翠（'03.4～）国分 伸矢（'02.3～'03.2）・
佐藤 友里・瀧澤 陽子・田口 暁子

（2）ボランティアスタッフとの関わりについて

ボランティアスタッフによって様々な事業や事務局をサポートしていただいた。

活動時間総計：153.5時間（2002年7月～2003年6月）

登録ボランティア：5名

お名前：葛西淳子さん、杵渕正幸さん、細野泰志さん、
高橋 亘さん、本郷正武さん

・ MEMO ・

II . センターの事業に関する事項

1 . 政策提言 (アドボカシー) 活動 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

(1) NPO 税 ・ 法人制度改革関連

1) NPO 税制学習会の開催

NPO 支援税制の改正や、急遽浮上した公益法人制度改革をテーマとして、計 3 回の学習会・セミナーを開催した。

(i) 「2002・7 NPO 税制改正全国キャンペーン 緊急報告会 & 説明会 変えるために、さあ、動こう! NPO 法人自らが動かずに、使える制度は実現しない」の開催

実施 : 2002 年 7 月 10 日 (水) 19 : 00 ~ 21 : 00

会場 : 青葉区中央市民センター 第 2 会議室

参加者数 : 20 名

主催 : 当センター

協力 : NPO / NGO に関する税 ・ 法人制度改革連絡会

シーズ = 市民活動を支える制度をつくる会事務局長

シーズ = 市民活動を支える制度をつくる会事務局長の松原明氏をお招きし、(1) NPO に関する制度改革の流れについて (2) NPO 法の改正について (3) NPO 支援税制についての 3 点について解説をいただいた。その後、シーズが実施する「NPO 支援税制改正のための NPO 法人緊急実態調査」についての説明が行われた。

(ii) 「制度改革の口火をみちのくで切る!!」

NPO 法制度 ・ 支援税制改正 2002 年度キャンペーン ・ みちのく秋の陣」の開催

実施 : 2002 年 10 月 31 日 (木)

会場 : 仙台市情報 ・ 産業プラザ 5 階 多目的ホール

参加者数 : 約 100 名

主催 : 当センター、(財) 住友生命社会福祉事業団、(特活) 日本 NPO センター、
NPO / NGO に関する税 ・ 法人制度改革連絡会

開催協力 : (特活) あおもり NPO サポートセンター、(特活) あきた NPO センター
(特活) いわて NPO フォーラム 2 1、(特活) 山形創造 NPO 支援ネットワーク、(特活) ふくしま NPO ネットワークセンター

パネリスト : 松原 明氏 (シーズ = 市民活動を支える制度をつくる会事務局長)
岡崎トミ子氏 (参議院議員)
田尻 佳史氏 ((特活) 日本 NPO センター事務局長)

加藤 哲夫（当センター代表理事・常務理事）

コーディネーター：黒澤 学（当センター理事）

NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会が展開する「認定NPO法人制度改革のための全国キャンペーン 2002/10-11」と連動して、NPOパワーアップフォーラム in 東北の一枠として開催した。

当日は松原氏から「NPO法制度・税制度改革の動き」「認定NPO法人制度の現状と課題」などの点について解説をしていただいた後、会場の声を入れなが4人のパネリストによるパネルディスカッションが行われた。

議論の内容や会場からの意見については、緊急にホームページに掲載し、全国にその様子を発信した。

(iii) センダードサロン「変わる！NPO法人制度 緊急学習会」の開催

実施：2003年2月20日（木）

会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

参加者数：約60名

主催：当センター

公益法人制度改革の急展開を受けて、急遽、センダードサロンの枠内で以下の4点をテーマとした学習会を開催した。

- (1) NPO法（特定非営利活動促進法）の改正
- (2) 認定NPO法人制度の改正
- (3) 内閣府によるNPO法運用の新基準
- (4) 公益法人制度改革とNPO法人制度

講師の説明や会場との討論の中で多くの問題点が指摘された。その内容は翌日センターのホームページに、また翌々日にはシーズのホームページに掲載され、その後全国規模で展開された一連の運動に大きな影響を与えた。

2) NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会などへの参加・協力

- (i) 「NPO支援税制改正のためのNPO法人緊急実態調査（アンケート）」への協力
2002年6月～8月にシーズが実施したアンケート調査に対して、説明会の開催や回答依頼の実施などについて協力を行った。

(ii) シーズへのカンパ提供

- 1) の各セミナー会場で募ったカンパを、シーズ宛に提供した。

2002年 7月 ￥13,000-

2002年 10月 ￥21,390-

(2) 地域のNPO施策に対する提言

1) NPO政策意見交換会の開催

昨年度に引き続き、NPOに関心のある超党派の県議会議員との意見交換会を開催した。県議会の開催にあわせて以下の4回の開催となった。この意見交換会については、新聞紙上でも取り上げられる(2003年2月23日 読売新聞)など、一定の社会的評価が出てきている。

主 催：当センター

第5回 実施：2002年7月10日(水) 参加議員：2名
(上述の「NPO税制改正全国キャンペーン 緊急報告会&説明会」への参加の形で実施)

会場：青葉区中央市民センター2階・第2会議室

内容：NPO支援税制、NPO法改正の現状と今後の進展について

第6回 実施：2002年10月2日(水) 参加議員：9名

会場：宮城県議会 1階 第1会議室

内容：NPOによる移送サービスの現状について

東京ハンディキャブ連絡会からの説明

第7回 実施：2002年12月6日(金) 参加議員：11名

会場：宮城県議会 1階 第1会議室

内容：認定NPO法人制度の現状と課題について

NPOによる移送サービスのその後

NPOからの報告 特定非営利活動法人宮城県断酒会

第8回 実施：2003年3月7日(金) 参加議員：5名

会場：宮城県議会 1階 第1会議室

内容：せんだい・みやぎNPOセンターの取り組み報告

公益法人制度改革に伴うNPO法人制度の見直しについて

今後は、NPO・市民が現場で感じる様々な想いを元に様々な政策提言を展開していく一つの機会として、この意見交換会が活用できるように、工夫を重ねていきたい。

2) みやぎNPOプラザ1周年記念フォーラム パネルディスカッションへの参加

実 施：2002年7月13日(土)

会 場：みやぎNPOプラザ・交流サロン

「NPOの自立と資金支援のあり方」をテーマに開催された標記フォーラム(主催：宮城県、地域NPO学会)にパネリストを派遣、県におけるNPOへの資金支援のあり方、民間と行政の役割分担などについて提言を行った。

(3) 個別分野における政策提言サポート

1) 移送（移動）サービスについての政策提言

2002年9月、高齢者などの移送サービスを有償で行っている宮城県内のNPO法人が道路運送法違反（白タク）容疑で家宅捜索を受けたのに対応して、10月～12月にかけて以下のような提言活動を展開、国への意見書提出など一定の成果を得た。

10月1日（木）

せんだい・みやぎNPOセンター、東京ハンディキャブ連絡会、3ネット（みやぎ在宅福祉ネットワーク、食事サービスネットワークみやぎ、みやぎ宅老連絡会）の3者合同で、団体へヒアリングを実施。

10月2日（金）

宮城県議会議員とのNPO政策意見交換会（上述）の場で調査結果を報告、国への意見書の提出について協議。

11月13日（金）

移送サービスに関わる団体に呼びかけて、センドードサロン「緊急集会！福祉の足を考える」を開催。

12月10日（火）

宮城県議会、国への意見書「NPO、市民活動団体、ボランティア団体等による福祉移送サービスの道路運送法上の位置付けの明確化を求める意見書」可決。

(4) その他

1) 行政等による各種委員会、審議会等への委員委嘱協力

宮城県図書館協議会委員（宮城県教育委員会）14.3.1～

宮城県民間非営利活動促進委員会委員（宮城県）13.10.1～

宮城県民間非営利活動プラザ運営協議会委員（宮城県）15.5.8～

みやぎボランティア総合センター運営委員会委員（社会福祉法人宮城県社会福祉協議会）14.6.1～16.5.31

みやぎボランティア総合センター運営委員会特別委員会委員（社会福祉法人宮城県社会福祉協議会）

14.9.1～15.5.31

宮城県共同募金会配分委員会臨時委員（社会福祉法人宮城県共同募金会）15.1.1～15.12.31

せんだい 新・生活産業創出コンソーシアム 支援協議会会員（仙台市）14.6～

仙台国際音楽コンクール関連事業企画委員会委員（財団法人仙台市市民文化事業団）15.2.26～16.12.31

エル・パーク仙台市民活動スペース管理運営団体選考委員会委員（財団法人せんだい男女共同参画財団）

15.4.1～15.5

財団法人宮城県地域振興センター評議員（財団法人宮城県地域振興センター）15.4.1～17.3.31

仙台都市圏総合都市交通協議会委員（宮城県）14.9.10～17.3.31

仙台市都市計画審議会委員（仙台市）14.8.1～16.7.31
公務員倫理モニター（国家公務員倫理審査会）14.6～15.5
仙台市社会教育委員（仙台市）
仙台市市民公益活動促進委員会委員（仙台市）
仙台市廃棄物対策審議会（仙台市）
グリーン電力基金運営委員（財団法人東北産業活性化センター）
仙台市社会福祉協議会 評議委員（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）
「仙台ブランドづくり運動」アイデアマン会議委員（仙台開府四百年記念事業推進協議会）
都心居住研究会委員（仙台都市総合研究機構）
地域コミュニティ研究会委員（仙台都市総合研究機構）
仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員（仙台市）15.5.21～16.3.31

2. マネジメントサポート（相談・講座・NPO向け講師派遣）●●●●●●●●●●

（1）VOICE OF NPO PROJECTの企画・実施

日本財団NPO支援センター強化プログラム

NPOの広報戦略をサポートする情報発信プログラムと、広報・編集ボランティア育成インターンシップシステムの開発。

助 成：日本財団

目 的：「人が足りない、物が足りない、お金がない！！」と多くのNPOが抱えている深刻な「3ナイ問題」。その原因は何か。NPOの組織運営には、「人・物・金・情報・マネジメント」が不可欠。しかし、なかなか思うように得られないのが現状である。この5つを結ぶカギはズバリ「広報」。NPOがこのプロジェクトを通してそのような「広報力」を獲得することを目的とした。

参加料：NPO・市民活動団体、1団体につき...3000円、市民...3000円

成 果：1. 参加団体の組織力が向上した。

2. 本事業を通して多くの市民がNPO・市民活動団体について理解を深めた。また、事業参加者の半数が事業終了後もNPO・市民活動団体で活動をしている。

3. 事業を多くのボランティアスタッフと推進することができた。

4. 事業参加者によるNPO広報サポート『TEAMてんぽて』が発足した。

* 本プロジェクトには、延べ約2,200名が参加した。

詳細は以下の通り。

(i) NPO向け広報・情報発信マネジメント研修プログラムの開発と実施

「NPOのための広報戦略講座」

目的：NPO・市民活動団体が広報の重要性を認識し広報のコツを掴む、
組織運営の中で出てくる問題と広報の関係について理解する。

応募NPO 22団体

参加NPO 21団体（選考により1団体減）

連続2回講座（各3時間）

第1回目『もっと！もっと！！情報発信！！』

2002年9月9日（月） 参加NPO 21団体 41名

第2回目『こんな広報、展開してます！！』

2002年9月18日（水） 参加NPO 21団体 38名

(ii) 市民向け編集ボランティア養成講座の実施

「市民ライター＆市民デザイナー養成講座」

目的：市民が、NPO・市民活動団体を理解する、自分の特技を活かして
社会貢献を体験する、特技に磨きをかける。

応募者 34名

参加者 33名（選考により1人減）

連続4回講座（各3時間）

第1回目『市民が書く・市民がデザインすること』

2002年9月30日（月） 参加者 23名

第2回目『市民ライターコース 伝える・広がる・言葉・コトバ・ことば』

2002年10月7日（月） 参加者 19名

第3回目『市民デザイナーコース ココロを伝えるデザイン』

2002年10月18日（金） 参加者 14名

第4回目『NPOを宣伝しよう！』

2002年10月21日（月） 参加者 25名

(iii) NPO・市民合同講座の実施

「NPO＆市民ライター＆市民デザイナー合同講座」

目的：共同制作期間のチームの基礎作り

1回講座（3時間）

『3人集まりや、文殊の広報！！』 2002年11月6日（水）

参加NPO 13団体（選考により8団体減）

参加者 21名（選考により12名減）

(iv) NPOへの広報・情報発信ボランティア・インターンシップの実施

「共同制作期間」

目的：NPO・市民活動団体と市民が協力して、団体紹介パンフレットを

作成する団体には、広報物の制作を通して、団体内のたなおろしとボランティアマネジメントの実践を経験してもらう市民には、ボランティアの実践を踏みながら、社会貢献やNPO・市民活動団体について理解を深め、今後もボランティアに関わるきっかけを掴んでもらう。

参加NPO 13団体 参加者 21名

期間：2002年11月7日（木）～2003年1月15日（水）

(v)個別カウンセリングの実施

目的：NPO・市民活動団体とそこに派遣された市民ライター・市民デザイナーが、充実した共同制作を行うためのサポート。

内容：技術的・精神的な個別サポート

対象：共同制作期間参加NPO 13団体 参加者 21名

期間：2002年11月7日（木）～2003年1月15日（水）

方法：面談・電話・FAX・メールにて対応

(vi)ボランティアカウンセリングの実施

「編集ボランティア会議」

目的：共同制作期間の参加者同士で問題の共有・解決を自発的に行う。

内容：プロのクリエイティブディレクターとライターがボランティアで相談対応。

対象：共同制作期間参加NPO 13団体 参加者 21名

2回講座（各3時間）

第1回目『編集ボランティア会議 vol.1』 2002年11月25日（月）

参加NPO 5団体 参加者 18名

第2回目『編集ボランティア会議 vol.2』 2002年12月19日（木）

参加NPO 7団体 参加者 14名

(vii)公開コンペ実行委員会

期間：2002年12月26日（木）～2003年1月24日（金）

対象：共同制作期間参加者の市民ライター・市民デザイナーうち有志9人

目的：2003年1月24日の『共感するパンフレット公開コンペ』の運営を自分たちで行うこと。今後の編集ボランティアチームの基礎作り。

内容：『共感するパンフレット公開コンペ』を、市民ライター・市民デザイナー有志で企画・準備。当日配布資料や展示物の作成及び会場設営など

(viii)共感するパンフレット公開コンペ

日時：2003年1月24日（金） 18:00～21:00

目的：共同制作期間中に作成したパンフレットの発表とコンペ形式による

- 審査。公開で行うことによって、広く社会にNPOをアピールする。
内容：共同制作期間に参加した13団体のパンフレットのプレゼンテーション。審査員4名による公開審査と来場者投票。受賞作品の発表。
入場者数 110名 参加NPO 13団体 参加者 21名
- (ix) 編集ボランティアグループヒアリング
期間：2003年2月13日(木)～2月25日(火)
対象：市民ライター・市民デザイナー 21名
目的：市民のボランティアニーズ調査と次年度プロジェクトに反映させるデータ収集。
内容：4グループに分けて、アンケートとグループディスカッションで意見を聞いた。
- (x) 共感するNPOパンフレット展
期間：2003年4月1日(火)～4月14日(月)
目的：本プロジェクトの概要と参加団体を広く社会に発信する
内容：プロジェクトの概要紹介と共同制作期間で作成した団体紹介パンフレットの展示、および配布。
来場者数 1,500名
- (xi) 共感するNPO広報・コミュニケーションシンポジウム
日時：2003年4月12日(土) 13:00～16:00
目的：プロジェクトの全貌の紹介とNPO広報・コミュニケーションのカタチを提案すること。
内容：プロジェクトの全貌の発表、コンペ入賞団体へのパンフレット贈呈、『NPO広報・コミュニケーション』をテーマにしたトークディスカッション(2部構成)。
入場者数 90名
- (xii) NPO広報サポート『TEAMてんぽて』結成
設立：2003年5月15日(木)
目的：NPO情報発信のサポートと市民ライター・市民編集ボランティアのスキルアップ及び活躍の場の提供。
内容：月1回のミーティングを中心に、プロジェクト制で活動現在、まち美化を推進する運動の広報・情報発信を担当(年契約)。
今年度は、組織基盤整備を中心にNPO・市民活動団体の情報発信のサポートを行う。
また、本プロジェクトの継続事業(2事業)にも協力予定。
メンバー：プロジェクトに参加した市民ライター・市民ライター有志8名
- (xiii) テキスト『広報ファクトリー』の作成

目的：NPOの広報・告知活動をより充実させるためのツール開発及びその配布

内容：NPOの広報・告知の仕方を、ワークシート形式にコンパクトにまとめる。他事業のパンフレット等も一緒に収められるパッケージも同時に制作。

完成日：2003年6月5日（木）

発行部数：3,000部

配布先：NPO、NPO広報担当者、NPO支援センター、日本財団

(xiv) 報告書の作成

目的：プロジェクトの全貌報告及びNPOセクターを超えた様々なセクターへの情報発信。

内容：プロジェクトの全貌の報告と今後のNPO広報・コミュニケーションについて提案。

完成日：2003年7月31日（木）

発行部数：500部

配布先：NPO、NPO広報担当者、NPO支援センター、日本財団

(2) コミュニティ・ビジネス開発講座の企画・実施

当センターでは、市民が地域の問題を解決するために自ら起業を考えている人々が潜在的に増えていることを想定し、仙台市市民局主催で実施した「市民起業家スクール」をさらに発展させた形で本講座を実施した。

そこで、今回の講座の成果としては主に次の4点があげられる。第1に、仙台市民のコミュニティ・ビジネスという新しい起業スタイルへの関心の高さを確認することが出来た点。第2に、コミュニティ・ビジネスの種となるものが、地域社会、特に女性たちの生活の周辺に多くあり、本講座は中小企業支援センターに起業相談に訪れることの少ない女性たちが起業のチャンスを身近に受け止める機会を提供したこと。第3に、他の人のビジネスプランを企画の初期段階で情報交換することにより、事業の独創性の有無や、新しい協同事業の可能性を確かめる機会を提供でき、このような講座による力量アップの可能性を感じることができた。4点目としては、今回は企業の参加が少なかったが、これまでのビジネス手法から脱却し、NPO的視点を持ったコミュニティ・ビジネスを立ち上げたいという企業がもっと出てくる可能性を企業参加者の相談状況から知ることができた事などである。

主 催：(財)仙台市産業振興事業団

企画・実施：当センター

実施時期：

(1) 7月期

日程：2002年7月16・23・30日、8月6日（4週連続 火曜日）

時間：18：30 21：30 参加者：20名

講座内容

第1回 講演：川村 志厚氏

経営デザイン研究所代表

せんだい 新・生活産業コンソーシアム運営委員会委員長

第2回 講演：針生 英一氏

ハリウコミュニケーションズ（株）代表取締役（仙台市）

第3回 講演：井口 百合香氏

つくばアーバンガーデニング実行委員会事務局長

暮らしの企画舎代表（筑波市）

第2・3回 ワークショップ：加藤 哲夫

当センター代表理事・常務理事

第4回 ビジネスプラン発表とアドバイス：川村 志厚氏、加藤 哲夫

(2) 10月期

日程：2002年10月1・8・15・22日（4週連続・火曜日）

時間：18：30 21：30 参加者：21名

講座内容

第1回 講演：川村 志厚氏

経営デザイン研究所代表

せんだい 新・生活産業コンソーシアム運営委員会委員長

第2回 講演：浅野 令子氏 愛きもの（株）顧問（京都市）

第3回 講演：藤田佐和子氏（特活）あかねグループ代表理事（仙台市）

第2・3回 ワークショップ：加藤 哲夫氏

（特活）せんだい・みやぎNPOセンター代表理事・常務理事

第4回 ビジネスプラン発表とアドバイス：川村 志厚氏、加藤 哲夫

(3) みやぎNPO支援センターネットワーク事業

「地域のNPOじっくり交流・しっかり研修会議」

助 成：日本財団

主催団体：みやぎNPO支援センターネットワーク

構成団体：（特活）気仙沼まちづくりセンター

（特活）いしのまきNPOセンター

古川NPO支援センター運営委員会

（特活）せんだい・みやぎNPOセンター

白石市民活動フォーラム

2002年度は、地域の個別課題に取り組むNPO（複数）の力量形成のためのマネジメント研修と、各支援センターとの連携を深めるための交流にポイントを置いた。また、支援センターの存在する地域事情に配慮したプログラム構成を重視した。

以下、3つの目標を設定した。

目標(i) 研修プログラムは、個別課題に取り組むNPOにとってより実践的で有益なものをめざし、各支援センターが活躍する有力NPO10団体（20名）程度の参加を積極的にオーガナイズする。そのニーズによってプログラム構成する。それによって支援センターが地域に効果的な支援プログラムを提供することができることを実証する。

目標(ii) 各支援センターに基礎的なNPOマネジメント研修ができる講師を1名養成する。そのために、毎回の支援センター対象プログラム（2日目）に、『市民活動の基本のキ』を加藤哲夫が提供する。

目標(iii) 参加者へのフィードバックなどの目的で、毎回講座終了後新聞を発行する。そのために、講座中から情報生産と編集を意識した参加の仕方をプログラムに織り込んで提供する。

[成果]

1. 地域事情・課題に即したテーマ設定で、より実践的な講座・研修内容を提供できた。

地域事情に配慮したテーマ設定(協働のまちづくり、コミュニティビジネス、地域の文化と環境、地域福祉計画、子育て支援、事業開発、環境とまちづくり、人材・資金のマネジメント、市民起業家)により、参加者は講師陣の実践と経験に基づいた、より具体的な先行事例や現場感覚に触れることができた。それにより、各参加者がそれぞれの地域で即時的に活用を図ることができる具体的なイメージをつかみ、自ら関わる現場に取り組む力をエンパワーメントすることができた。

2. 新規・若手スタッフへの効果的なスキルアップの機会を提供できた。

今年度は、古川と石巻の各団体に専従のスタッフが雇用されることになり、仙台市市民活動サポートセンターと同様の「官設民営」型NPO支援施設が本格的に始動する年となった。各施設職員は本研修へ積極的な参加をはかり、各自の貴重なスキルアップの契機として大いにこのプログラムを活用した。特に、各回講座に設けた「市民活動基本のキ」シリーズでは、支援センターのスタッフとして必要とされる最低限の知識やスキルの共通理解を促す機会となり、各センター窓口でのサポート機能の充実に貢献することができた。また、日常業務である支援施設の運営状況について、情報交換とともに各職員レベルでの業務に関するノウハウの交換が恒常的に行われるきっかけとなった。

3. 各支援センターの広報能力向上に貢献した。

編集講座を取り入れ情報生産のトレーニングをしたが、実際には、石巻と古川の2センターが新聞を発行した。これは、通常各支援センターで発行するニュースレターの編集作業に即して、スタッフが編集作業を学び、そこで得たスキルを実践的に日常業務へフィードバックすることができた。最終回の仙台での編集ワークショップは講座構成の都合上割愛したので、仙台の新聞は制作しなかった。

4. 顔の見える官民協働の契機づくりに貢献した。

各回ごとに「官民協働推進サロン」を設け、それぞれの自治体でNPOを所管する担当者をゲストにお招きした。その結果、実際の行政担当者と地域の個別NPOスタッフが直接会って意見交換を行ったり、市の総合的な施策について市民が理解を深めたりする場を作り出すことができ、今後の地域での官民協働のモデルになった。

[反省点・問題点]

1. 当初、講座ごとに掲げていた現地の個別団体参加数の数値目標、「毎回10団体を集めること」ができなかった地域が生じた。広報の際に、講座の価値や講師の魅力が伝えきれなかった、など原因が考えられるが、主に以下の要素が考えられる。
 - (i)告知期間中に各地域で別のイベントやセミナーにて広報する機会はあったがチラシの表現や、対象者を明確にした“売り”のアピールが不足していた。
 - (ii)また、地域によっては、1回2,000円という参加費の金額が高いととらえられ、実際の申し込みに至らなかった。
 - (iii)各支援センターが、参加を呼びかける段階での広報支援やアドバイスを事務局がより積極的に行う必要があった。
 - (iv)各支援センターの事情が分化し、専従職員がいる3センター（仙台、石巻、古川）と団体ネットワーク型（白石）、まちづくりセンター型（気仙沼）のかかわり方に差がでるようになってきた。以上の課題・問題の分析を踏まえ、本事業後半の講座企画となる白石と仙台での開催に関しては、チラシ表現と2日間とも地域のNPOの方に参加いただけるように部分参加を認めるなど講座構成を変え、参加費を1日1,000円として募集した。この結果、前半を大きく上回る参加者を獲得することができた。
2. 各支援センターの事務局体制が異なる状況を鑑みて、準備や事後のフォローを行う必要があった。事務局のプロセスデザインの不備と各支援センターとの連携が不足していた。

これらの問題点については、事業成果物としての実践的なマネジメント事例を盛り込んだテキスト制作と配布によって、地域の団体に対するマネジメント支援に活用できるようにする予定である。

[展望]

1. 各支援センターは地域のNPOとの関わりについて、自らの組織における強みと弱みを洗い出し、さらに、それを元に地域が抱える社会的課題の展開や状況を把握することが必要である。これを今後の支援業務に役立て、具体的なプログラム実施を通して、地域におけるNPO支援センターの存在を確立する。
2. 専従スタッフの情報・人材交流によりノウハウや経験共有の機会を生み出す。特に、支援施設の運営が求められる団体に関しては、その施設運営上も、職員の資質と力量の向上が求められており、ネットワークの交流を通して、今後も学びの機会と交流の機会の拡充をはかっていく。
3. 講師陣から学んだ智恵と知識を育み、現場で実践することにより、分野や地域を超えたネットワークを活用しながら、地域課題の解決に向けて取り組む。

宮城県内5つのNPO支援センターのネットワークである本ネットワークは、理事、スタッフの交流研修から地域のNPOとの協働研修・交流を経て、宮城県内のNPOにとっての存在価値が認知されつつある。特に、ローカル地域における支援センターの役割は大きく、宮城県の支援施策の限界も見えてきており、民間の旗を掲げ、適切な組織運営のモデルとなり、地域の課題に取り組むNPOの力になる、そんな支援センター像を2003年度もより一層構築していきたい。

[実施講座]

(i) 顔合わせ会

日時：2002年6月17日(月) 18:10~20:15

場所：せんだい・みやぎNPOセンター 事務局 参加者：10名

内容：主旨・目的の確認や概要の把握、事業内容・スケジュール等確定、運営方法の確認など。

(ii) 石巻開催

日時：2002年9月21日(土) 13:00~18:30 / 2日(日) 9:00~15:30

場所：石巻NPO支援オフィス / 石巻市総合体育館

受講者：21日 - 20名 / 22日 - 14名

経験から学ぶ：協働のまちづくり~つくば市の事例より

講師：つくばアーバンガーデニング実行委員会事務局長 井口百合香氏

理論から学ぶ：実践から学ぶ協働のしくみ

講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫

協働推進サロン：石巻市NPO支援オフィス設置と協働について

話題提供：石巻市役所企画部まちづくり推進課地域振興係長 村上伸介氏

(特活) いしのみまきNPOセンター 事務局長 木村正樹氏

ゲストセッション：コミュニティビジネスの仕掛けづくり

講師：(有)こらぼネット代表取締役 石井布紀子氏

地域講師養成講座：ボランティアについて

講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫

課題解決セッション：(特活)いしのまきNPOセンター

(iii) 気仙沼講座

日時：2002年11月22日(金)13:00~18:30

23日(土)9:00~15:30

場所：気仙沼市地域交流センター 受講者：22日-25名/23日-15名

経験から学ぶ：地域の文化と環境を活かしたまちづくり

~ 西和賀文化遺産伝承協会の事例 ~

講師：(特活)西和賀文化遺産協会 理事・事務局長 廣瀬龍一氏

理論から学ぶ：まちづくりにおける地域資源の効果的な活用とは？

講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫

協働推進サロン：気仙沼市の官民協働について

話題提供：気仙沼市役所企画部まちづくり推進係 畠山幹司氏

ゲストセッション：地域福祉計画の展開について

講師：(特活)茨城NPOセンター・コモンズ

常務理事・事務局長 横田能洋氏

地域講師養成講座：組織について～「想い」から「団体」へ

講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫

課題解決セッション：気仙沼まちづくりセンター

(iv) 古川講座

日時：2002年12月6日(金)13:00~18:30/7日(土)9:00~15:30

場所：古川NPO支援センター 受講者：6日-21名/7日-11名

経験から学ぶ：子育ての現場から地域社会の“共生”を考える

講師：(特活)びーのびーの理事長 奥山千鶴子氏

理論から学ぶ：地域をつなぐNPO

講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫

協働推進サロン：古川市のNPO施策について

話題提供：古川市役所地域振興課係長 佐々木桂一郎氏

古川NPO支援センター運営委員会会長 三上正弘氏

ゲストセッション：NPOの事業開発の視点とは？

講師：(株)リクルートワークス研究所 木島洋嗣氏

地域講師養成講座：事業づくり(サービス、顧客)

講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫

課題解決セッション：古川NPO支援センター運営委員会

(v) 白石講座

日時：2003年1月18日(土)13:00~18:30/19日(日)9:00~15:45
場所：城東コミュニティセンター 受講者：18日-17名/19日-18日
経験から学ぶ：まちづくりなら環境だ！~NPObirthの取り組みから~
講師：(特活)NPObirth事務局長 佐藤留美氏
理論から学ぶ：みるみる資金が集まる！NPO資金調達術！！
講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫
協働推進サロン：白石市の官民協働について
話題提供：白石市役所生活環境課主幹兼交通防災係長 古山幸男氏
ゲストセッション：みるみる増える！ボランティア・マネジメント術！！
講師：(特活)きょうと学生ボランティアセンター 赤澤清孝氏
地域講師養成講座：計画をつくろう！
講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫
課題解決セッション：白石市民活動フォーラム

(vi) 仙台講座

日時：2003年2月22日(土)13:00~18:30/23日(日)9:00~15:00
場所：仙台市戦災復興記念館 受講者：22日-31名/23日-29名
経験から学ぶ：あなたの夢が仕事になる！~NPO流起業のススメ
講師：(特活)キャリアナビ代表 平尾ゆかり氏
理論から学ぶ：若者よ“独立”セヨ！君にもできる起業の極意
講師：当センター代表理事・常務理事 加藤哲夫
協働推進サロン：仙台市との市民との協働施策について~“市民起業家”
を中心に
話題提供：仙台市役所市民局市民部地域振興課市民活動支援室室長
鈴木憲一氏
ゲストセッション：みるみる仲間が元気になる！
~スタッフを活かす人材マネジメント
講師：(特活)多文化共生センター代表 田村太郎氏
課題解決セッション：(特活)せんだい・みやぎNPOセンター

[成果物]

『一冊開眼 NPO最前線 成功の秘訣』の発行 部数：1,000部
実施講座の“経験から学ぶ”シリーズの5人のゲストによるお話しと「マネジメント
の視点」の開設をまとめた。

(4) NPOパワーアップフォーラムの企画・実施

このフォーラムでは、3つの成果を得ることができた。一つは、東北地域のNPOに総合的なマネジメントを学ぶ機会が提供でき、団体の組織運営のレベルアップに貢献できたこと。二つ目はNPO法制度・支援税制のキャンペーンを実施することで、東北発でNPOの声を届けることができたこと。三つ目は、東北各地からNPO支援センターのスタッフが集結し、現在から将来に向けての課題について意見交換し交流を図ることができたこと。今後、東北のNPO支援に関わる事業を推進する上でのネットワークづくりにつながった。

主催：財団法人住友生命社会福祉事業団、(特活)日本NPOセンター、当センター

日時：2002年10月31日(木)～11月1日(金)

会場：仙台市情報・産業プラザ(多目的ホール、セミナールーム1・2)

総参加人数：255名

内容：

10月31日(木)

A：戦略的な事業計画の作り方 講師：加藤哲夫(当センター代表理事・常務理事)

B：NPOの財政基盤を強化するためには

講師：田尻佳史氏((特活)日本NPOセンター事務局長)

C：NPO法制度・支援税制 2002年度キャンペーンみちのく秋の陣

講師：松原明氏(シーズ=市民活動を支える制度をつくる会事務局長)

D：交流&情報交換会

11月1日(金)

E：NPOにとってのミッションとは？

講師：今田克司氏(日米コミュニティ・エクステンジ代表/CEO)

F：人と組織の育て方とは？

講師：川北秀人氏(人と組織と地球のための国際研究所/IIHOE代表)

G：東北のNPO支援を考える - 支援センター交流&勉強会

(5) 情報発信パワーアップ講座の企画・実施

助成：(社福)宮城県共同募金会

実施日：2003年3月11日(火)・18日(火)・25日(火)

参加費：無料

目的：NPO・市民活動団体が効果的に情報を社会に発信するために必要な、「広報力」と「デザイン力」をつけることを目的に実施した。

成果：文章力、パソコン技術、施設活用法など、NPO・市民活動団体が情報発信するにあたって必要なメニューを提供した。

毎回会場を変えることによって、参加者にそれぞれの施設の活用方法を教え

るだけではなく、当センターとしても企業や他の施設との連携を作ることができた。

各講座の詳細は以下の通り。

第1回目『満員御礼を呼ぶコピーとデザインのコツ！』

日 時：2003年3月11日（火） 13：30～16：30

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：20名

内 容：効果的な広報の秘訣と読み手のハートをつかむコピーとデザインを学んだ。

第2回目『ワードで十分ここまでイケる！チラシ制作大作戦』

日 時：2003年3月18日（火） 13：30～16：30

場 所：株式会社ステップ 参加者数：19名

内 容：一番身近なパソコンソフト、Windowsのワードをフルに使って、イベントチラシをデザインした。

第3回目『こんなコトもできます！！デザイン専門ソフト・イラストレーター』

日 時：2003年3月25日（火） 13：30～16：30

場 所：せんだいメディアテーク 参加者数：17名

内 容：DTP専門ソフト・イラストレーターを使ったデザインのポイントを、プロのデザイナーに学んだ。また、せんだいメディアテークの活用方法もレクチャーした。

(6) NPOマネジメント基礎集中講座の実施

受 託 先：(財)せんだい男女共同参画財団

日 程：2002年9月13日（金）・14日（土）・15日（日） 参加者数：16名

派遣講師：加藤哲夫、青木ユカリ、工藤寛之

依頼講師：中村祥子氏（(特活)グループゆう 代表理事）

目 的：比較的小規模な女性グループを対象に、NPOとしてのアイデンティティ確立のために必要な基本的な知識と考え方、そして具体的な組織運営の手法を提供します。また、市民参加や行政との協働に関わる考え方を整理し、公的施設のNPO管理論についても、実例を交えて提供します。毎回の講義の後には必ずフィードバックを行い、参加型学習により、自発性を最大限引き出します。一つの団体から必ず複数受講することで、その団体の活動力が確実に向上します。(募集要項から)

成 果：3日間、9コマのマネジメント講座を集中的に提供することで、徹底的な質疑応答も含めて、双方向の学びの場づくりに留意した結果、組織運営上の考え方や委託をめぐる官民の関係整理には大きく貢献したと思う。

(7) NPO講座とNPO法人のための実務講座の企画・実施

主催：当センター

協力：NPO会計税務専門家ネットワーク

「1日でわかる！会計・税務専門家のためのNPO講座」

日時：2003年4月26日（土）10：00～17：00

会場：仙台戦災復興記念館 第2会議室 参加者数：33名 参加費：10,000円

講師：早坂 毅氏、細野 由美子氏、加藤 哲夫

「NPO法人のための実務講座 NPO法人の会計と税務申告」

日時：2003年4月27日（日）10：00～16：30

会場：仙台市民会館 第1会議室 参加者数：27名 参加費：5,000円

講師：早坂 毅氏、細野 由美子氏

(8) 平成14年度 地域版 ボランティアパワーアップ研修

（社福）宮城県社会福祉協議会 / みやぎボランティア総合センターからの講師依頼で、「市民活動、ボランティア活動とは / グループ活動の自立と必要性」「広報活動、コミュニケーションの基本と活用」という事業を実施した。対象は、開催地域で活動しているボランティア団体のメンバー。目的は、地域の社会福祉協議会から各団体が資金的にも、組織的にも自立して活動するために学ぶというもの。長年、社会福祉協議会の呼びかけで活動してきた団体も、資金的にも活動展開するうえでも変化してきた社会状況にあわせた活動を模索し始めているため、そのきっかけとなるような講座を実施した。

開催日：7月19日（金）市民活動、ボランティア活動とは

／グループ活動の自立と必要性

7月24日（水）広報活動、コミュニケーションの基本と活用

8月1日（木）市民活動、ボランティア活動とは

／グループ活動の自立と必要性

8月7日（水）広報活動、コミュニケーションの基本と活用

8月20日（火）市民活動、ボランティア活動とは

／グループ活動の自立と必要性

8月21日（水）広報活動、コミュニケーションの基本と活用

講師：紅邑晶子 遠藤智栄 松尾敏行

主催：（社福）宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター

共催：大崎・登米・桃生牡鹿地方・石巻市・古川市・中田町社会福祉協議会

(9) 地域情報化推進事業

サポート資源提供システムの安定的な運用によって、PCやプリンターの提供、技術サポート企業の紹介など、NPOの情報化支援を継続して行った。また、3月に開催した、「情

報発信パワーアップ講座」においても、企業や専門家（デザイナー）の協力により、NPOの情報化、情報発信力の向上に寄与する事業を行った。

(10) その他、講師派遣一覧

NPO・市民活動団体等向け研修 65件

	研修名	主催	実施日
1	「NPOその本質と可能性」「NPOにとっての事業(活動)とはもつ意味と、その課題」	子ども劇場福岡県センター	2002/6/22・23
2	片平たてもへの応援団総会講演	片平たてもへの応援団	2002/6/22
3	NPO支援センター強化プログラム研修	日本財団	2002/6/28・29・30 12/13・14・15
4	「認定NPO法人制度改正のためのアンケート調査」緊急説明会	NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会	2002/7/1
5	多文化セミナリオin名古屋	日本財団	2002/7/7
6	「NPO支援センターとは何か？」	新潟NPO協会	2002/7/14
7	介護系NPO研究会	(特活)日本NPOセンター	2002/7/17・9/18
8	地域カウンセラー養成講座		2002/7/19・20・21・10/11・12・13・14
9	「地域版ボランティアパワーアップ研修」	(社福)宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	2002/7/19・24・8/1・7・20・21
10	「プレゼンテーション・セミナー」	阪大フロンティア研究機構	2002/8/9・10
11	全国ボランティアコーディネーター研究集会2003「NPO型ボランティアコーディネーターのきほんのき」	全国ボランティアコーディネーター研究集会2003実行委員会	2003/3/7・8
12	コミュニティ・ビジネス開発講座受講者相談会		2002/8/21
13	多文化セミナリオinあいち	日本財団	2002/8/23・24・25・11/9・10・2003/1/31・2/1・2
14	「NPO支援オフィスの役割」	(特活)いしのみぎNPOセンター	2002/8/24
15	「ファンリレーター研修」	日本財団	2002/8/30・31・9/17・28・10/26・11/18
16	第1回民間NPOセンター将来の展望を考える会	(特活)日本NPOセンター	2002/9/6
17	芳金労組宮城県支部業研集会		2002/9/7
18	コミュニティビジネス&サービス講座	大学コンソーシアム京都	2002/6/29・30
19	コミュニティ・ビジネス開発講座	仙台市中小企業支援センター	2002/7/16・23・30・8/6・10/1・8・15・22
20	第1回巡回<石巻編> 第2回巡回<気仙沼編> 第3回巡回<古川編> 第4回巡回<白石編> 第5回巡回<仙台編>	みやぎNPO支援センターネットワーク	2002/9/21・22 11/22・23 12/7・8 2003/1/18・19 2003/2/22・23
21	「センターオペレーションに関する講義、ワークショップ」	(特活)NPOふくおか	2002/9/27
22	福岡市NPO・ボランティア交流センターオープン記念講演	(特活)NPOふくおか	2002/10/6
23	「社会の中のNPO NPOを支える制度づくり」	(財)北海道地域活動振興協会	2002/10/13
24	宮城県ボランティアコーディネーター養成研修	(社福)宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	2002/10/24
25	神奈川県内支援センタースタッフ研修	かながわNPOマネジメントカレッジ	2002/10/27

26	多文化共生のための政策形成フォーラム in 関西	日本財団	2002/10/30
27	NPOパワーアップフォーラム in 東北	(財)住友生命社会福祉事業団	2002/10/31・11/1
28	NPOパワーアップフォーラム in 広島	(財)住友生命社会福祉事業団	2002/11/3・4
29	山元町野外ぐるりん博物館	土地改良事業団体連合会	2002/11/13
30	「NPOとコミュニティビジネス」	(協連)日専連東北地方連合会	2002/11/14
31	スタッフ・理事研修	(特活)グループゆう	2002/11/17
32	リエゾン活動研究セミナー	日本工業大学リエゾン活動研究会	2002/11/20
33	NPO公開コンペ2002	仙台青葉ライオンズクラブ	2002/11/24
34	「市民参加のワークショップの技法」	土地改良事業団体連合会	2002/11/28
35	「新しい市民社会づくりとパートナーシップの形成」	(財)東北開発研究センター	2002/12/6
36	「NPO講座100時間・Part NPOのマネジメント」	那覇NPO活動支援センター	2002/12/14・15
37	NPOパワーアップセミナー <上信越><北関東編><大阪編>	(財)住友生命社会福祉事業団	2002/12/21・2003/1/24・2/21
38	「愛知県NPOに関する雇用状況調査」座談会	(特)パートナーシップ・サポートセンター	2002/12/23
39	公開フォーラム5元気な市民活動をめざして 「どう活かすNPO支援センター」	(特)鎌倉市市民活動センター運営会議・鎌倉市	2003/1/11
40	第4回政策メッセ「現代社会における不安と新たな信頼の形成について」	政策分析ネットワーク	2003/1/12
41	「NPOとは？」	日本サービス・流通労働組合連合会東北地区	2003/1/16
42	新春懇話会「NPO法人のつくり方について」	仙台市重症心身障害児(者)を守る会	2003/1/24
43	新春講演会「企業とNPOの連携」	(特)宮城マネジメント協会	2003/1/24
44	「ソーシャルアントレプレナーワークショップ」	政策学校「一新塾」	2003/1/25・26
45	東日本カウンセラー協会設立記念式典	(特活)東日本カウンセラー協会	2003/1/25
46	東北パートナーシップ研究ネットワーク秋田研究会	(協)プランニングネットワーク東北	2003/1/25
47	NPOとの協働を考える講演とワークショップ	ぎふNPOセンター	2003/1/27
48	企業とのパートナーシップでつくる子育て支援ネットワーク	MIYAGI子どもネットワーク	2003/1/30
49	第34回全国ボランティア研究集会山形県庄内集会	第34回全国ボランティア研究集会山形県庄内集会実行委員会 (社)日本青年奉仕協会	2003/2/9・10・11
50	第6回野田一夫の独断と偏見シリーズ「日本人の表現力」	(財)社会開発研究センター	2003/2/13
51	21世紀の地方自治土曜セミナー	(財)社会開発研究センター	2003/2/15
52	「NPOその本質と可能性について」	(社)全日本建設技術協会宮城県特別会員市会	2003/2/19
53	集落整備構想作成方針検討研修会	宮城県土地改良事業団体連合会	2003/2/17・18・19
54	東北パートナーシップ研究会<盛岡研究会> <仙台研究会>	(協)プランニングネットワーク東北	2003/2/21・3/5
55	NPOパワーアップ講座	(特活)いわてNPO-NETサポート	2003/3/1
56	ひとと文化とボランティアの講座	(財)仙南文化振興財団	2003/3/12
57	日本NPO学会年次大会	日本NPO学会	2003/3/14・15

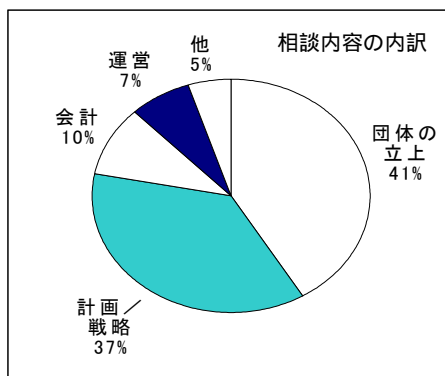
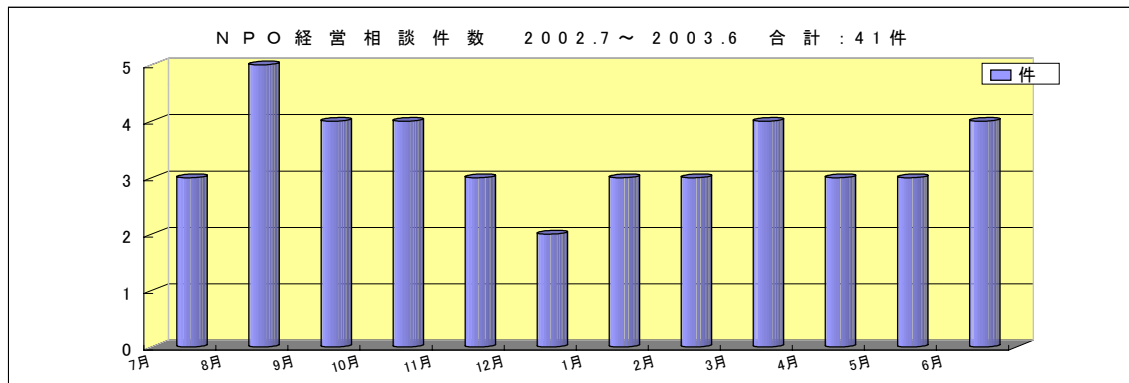
58	「NPOと行政の協働を促進する仕組みづくり」	(特活)NPOくまもと	2003/3/23
59	「ここまで広がったNPO活動の現状」	仙台五城ライオンズクラブ	2003/3/26
60	「NPOのための実務講座」修了式講演	(特活)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	2003/3/29
61	NPOフォーラム 「地域を元気にするNPO活動とは」	NPOもがみ	2003/3/29
62	みやぎ在宅福祉ネットワーク定例会	みやぎ在宅福祉ネットワーク	2003/4/26
63	東口まちかど探見	仙台市中央市民センター	2003/5/31
64	平成15年度 宮城県民生委員児童委員協議会 会長研修会	(社)宮城県社会福祉協議会 宮城県民生委員児童委員協議会	2003/6/10-11
65	全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議in熱海	同実行委員会	2003/6/21

企業向け内部研修 3件

	研修名	主催	実施日
1	「全日本印刷文化展仙台大会」	宮城県印刷工業組合	2002/10/4
2	「企業とNPOの連携による地域社会の活性化」	日本経済団体連合会	2002/12/11
3	「NPOとは？」	日本サービス・流通労働組合連合	2003/1/16

(11) NPO経営相談

今年度は41件(58名)の経営相談を受付けた。上記の相談内容のうち、NPOの立ち上げやNPO法人化に係る内容、次いで事業計画や戦略に関する内容であった。



相談日：月1回13：00～17：00

(1時間単位・予約制)

相談料：会員 2,000円

非会員 2,500円

アドバイザー：加藤哲夫

3. ネットワーキングサポート

(1) 市民活動団体の交流広場「セナダードサロン」の開催

2002年7月～2003年6月：12回（参加者数はスタッフを含む）

時間：19：00～21：00 *内容と会場によりこれに限らない。

会場：仙台市市民活動サポートセンター、他 会費：500円

7月9日（火）個人情報の保護と市民活動・NPO	参加者数：17名
8月10日（土）地元料理・スローフードを通しての地域の食と農 in 名取 ～旬を喰らふアウトドアセナダード夏～	参加者数：6名
9月12日（木）あなたにもできる政策提言	参加者数：17名
10月2日（水）知りたい！病院ボランティアの仕事	参加者数：9名
11月13日（水）緊急集会！福祉の足を考える	参加者数：48名
12月15日（日）おいしい作業所味わい隊！	参加者数：23名
1月23日（土）新春セナダード大交流会	参加者数：17名
2月20日（木）変わる！NPO法人制度緊急学習会	参加者数：75名
3月13日（木）開館前線上昇中！	参加者数：20名
4月18日（金）セナダード的電話相談	参加者数：26名
5月29日（木）全市で総額2,130万円！市民提案型まちづくり活動助成の活かし方	参加者数：34名
6月12日（木）災害に備えたまちづくり～NPOと市民からはじまるネットワーク～	参加者数：28名

(2) 企業とNPOの交流広場「PONPO-NET」の開催

2002年7月～2003年6月：6回（参加者数はスタッフを含む）

特別企画「グッドライフ長町・長町タウンモビリティ見学ツアー」7月22日（月）

場所：グッドライフ長町 参加者数：6名

第15回「アイセックの活動における学校との協働イベントについて」8月23日（金）

（サロンマスター：八田さん）

場所：東北NSソリューションズ6F会議室 参加者数：6名

第16回「富谷高校でのインターンシップ生の授業報告」10月23日（水）

（サロンマスター：アイセック仙台委員会）

場所：東北NSソリューションズ6F会議室 参加者数：14名

第17回「安全な食べ物の提供とスローフード」12月18日（水）

（サロンマスター：高鷹さん）

場所：東北NSソリューションズ6F会議室 参加者数：17名

第18回「1年の振り返り、今後のPONPO-NETについて」2月12日（水）

場所：東北NSソリューションズ6F会議室 参加者数：10名

第19回「企業の社会的責任（CSR）について」4月10日（木）

（サロンマスター：アイセック仙台委員会村上さん）

場所：宮城ゼロックス㈱1Fコラボレーションルーム 参加者数：18名

第20回「持続可能型経営のススメ～オランダからの研修生と共に考えるCSR～」

5月24日（土）

場所：仙台国際センター 研修室 参加者数：26名

(3) 各地NPO推進機関との連携

1) NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会

*参加団体として協力

2) 市民社会創造ファンド

当センターで、サポート資源提供システムの一部である「資金」に関するNPOへのサポートをファンド化する予定にあわせて、先駆的な取組みが行なわれている[市民社会創造ファンド]の会議に積極的に参加した。

会議日：3月18日（火）基盤強化プログラム（コアファンド）に関わる会議

4月11日（金）市民活動の助成担当者交流会

5月30日（金）基盤強化プログラム（コアファンド）に関わる会議

出席者：紅邑晶子、加藤哲夫

3) NPO支援センタースタッフ研修会

* 研修会へはスタッフ2名が継続参加した。(第18回は不参加)

第16回「社会変革・課題解決に向けたNPOの真の機能とは？」

日時：2002年5月31日(金)・6月1日(土) <神戸>

会場：こうべまちづくりセンター2F

主催：(特活)市民活動センター神戸、(特活)日本NPOセンター

助成：トヨタ財団

第17回「NPOの組織基盤？ 運営と管理の両立の可能性」 <北海道>

日時：2002年9月27日(金)・28日(土)

会場：札幌ビル5F A会議室

主催：(特活)北海道NPOサポートセンター、(特活)日本NPOセンター

助成：トヨタ財団

第1回「民間NPO支援センター・新人研修会」

日時：2002年9月6日(金)

会場：富士ビル1F MARUNOUCHI CAFE内

主催：(特活)日本NPOセンター

3) 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2003 実行委員会

実行委員として参加し、1分科会の企画担当と当日運営に参加した。

実行委員会 第1回：8月17日(土)

第2回：8月31日(土)

第3回：10月5日(土)・6日(日)

第4回：11月2日(土)

第5回：11月30日(土)

第6回：12月14日(土)

第7回：1月18日(土)

第8回：2月1日(土)

第9回：3月2日(日)

最終回：5月10日(土)

研究集会開催日：2003年3月7日(金)・8日(土)

会場：仙台市情報・産業プラザ 5F 多目的ホール、他

主催：全国ボランティアコーディネーター研究集会 2003 実行委員会

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

内容：「杜の都物語 市民参加を支えるコーディネーションの可能性」

全体会I「多様な分野・組織におけるボランティアコーディネーションを紐解く」

全体会II「明日からのボランティアコーディネーションを元気にする」

分科会A1~14・B1~14

* 企画担当分科会

B-3「NPO型ボランティアコーディネーター基本のキ

~ NPOの人材開発のためのボランティア・マネジメント講座 ~」

- ・サポート資源提供システムのホームページリニューアル（2003年5月）
- ・NPO情報ライブラリーのホームページ上での公開（2002年10月）

などを実施、よりニーズに即した戦略的な情報発信を目指して仕組みの改良を重ねた。

アクセス数

年度内のアクセス数 21,706件（約59.5件/日）

累積アクセス数 47,808件（2000年4月より）

1日あたりのアクセス数は、一昨年度（約23件/日）および昨年度（約46件/日）と比べて順調に増加している。特に、上記のような改良を行った年度後半（2003年1月以降）については、1日あたりアクセス数が約68件/日と伸びている。

今後は、よりニーズに即した情報発信をめざし、ホームページ全体の構成変更を含めて検討を進めていきたい。

（4）書籍販売「みんなん堂」

取扱い図書：70種

*出版（2002年11月1日発行）

『設立5周年記念誌 せんだい・みやぎNPOセンターの仕事

NPOサポート・SENDAIモデル』の出版と販売

（5）各種取材への協力

5. 調査・研究・コンサルティング事業（行政・企業向け講師派遣・相談）●●●●●●

（1）人財サポートプログラムの実施

「NPOへの人財サポートシステムの開発（企業人のソフトランディング21）」

助成：日本財団

事業の背景・目的

：当センターでは、2001年より、日本財団の助成を受けて起業の資金/中古パソコン/オフィス什器などをNPOに提供するというシステムの試験運用を始めた（サポート資源提供システム）。本システムでは、当初企業からの「人材」の提供への取り組みも行っていたが、やはり「人」に関することはなかなか簡単にはいかないということが分かり、本事業として取り組むことになった。本事業では、企業の方々をひとつの資源と考え、その資源をNPOでどのように活用できるか、そして企業もまた、自立した社員の育成のために、地域社会のつながりをどのように持っていけばいいのかを考えていく機会にしたいと考えた。

NPOの組織運営には人材/資金/物品など、様々な資源が必要である。NPOの活動を支える資源の中でももっとも重要と思われる「人」の不足は多くのNPOにとって依然深刻なものである。これは単なる個別団体の問題であるだけでなく、日本社会のボランティア文化の未成熟と、NPOを取り巻く「人」に関わる知識と情報の欠如、受け入れNPO側のノウハウ不足などの構造的問題があるのではないかと推測した。そこで、サポート資源提供システムで構築した地元企業との接点を生かして、能力のある人材をNPOに提供するために、企業における人的資源の開発・提供を行い、その受入先であるNPOのマネジメントの高嬢を支援することを目的としている。

課題：NPO側では、当初の推測どおり人材不足やボランティアマネジメントの重要性、情報発信の必要性が浮き彫りになった。各講座や実態調査から、多くの団体が組織の人材を巡る問題に対して悩みを抱えていることが分かった。一方、企業では、NPOに対する認識不足などもあり、NPOとの連携による社会貢献活動という視点は、まだ一部の企業が持つにとどまっていることが分かった。また、企業人が一社会人としてどのように地域と関わっていくか、という個人の働き方や生き方に関しては多くの企業人が関心を持っていることも分かった。

成果：(i)現状の把握

事業を通して、NPOにおける「人材」とボランティアマネジメントの現状と課題、また、地元企業の社会貢献活動の実態を知り、今後のあり方をより深く考察することができた。このことにより、支援センターとして次に取り組んでいくべき課題は何かを整理していくことができると考えている。

(ii)参加企業/NPOの相互理解の深まり

各講座や研修会を通じて、研究会参加企業/NPOの相互理解が深まったことは大きな成果であった。企業とNPOの間には今までなかなかじっくりと話しをする機会がなかったため、お互いの本音が聞き出せたことは、人材交流のしくみづくりを行う上でとても有益であった。

(iii)勉強会/研集会の実施

事業に参加した企業人による数回にわたるワーキングで、企業人のボランティア活動研修プログラムを検討・実施することができた。内容は当初予定していたものとは異なるものとなったが、企業の現状を考えた上でそのニーズに合った内容になった。例えば2月に実施された研修会は、あるモデル企業の社内研修として、次長クラスの方々を対象として行った。その際、先方より、「CSにつながるNPOとの連携と社員のボランティア活動について」の研修をして欲しいとの要望があり、プログラム内容をニーズに合わせて検討することとなった。企業人の生の声がそれぞれ勉強会/研修会に生かされ、

今後の企業人向け研修プログラムづくりのヒントになった。

(iv) 企業 / NPO 向けパンフレットの作成

今回の事業を通して得た様々な情報をパンフレットにして活用していただくことになった。NPO 向けには、ボランティアマネジメントのノウハウが詰まった内容に、そして、企業向けには、企業人のボランティア活動についての情報を提供できるものを作成した。

展 望 : (i) NPO の情報発信サポート

当センターでは、現在、市民の方に、NPO の情報発信の支援をボランティアで行ってもらおうという事業を展開しており、一定の成果を得ている。今後はこの事業を参考にして、企業人も参加できるような内容 / 時間帯でないようを絞った募集をしていきたい。

(ii) せんだい CARES

NPO が行う様々な催し物や日常的なボランティアとして、企業の方に参加してもらうことが、時間帯や受け入れ団体の準備不足などにより難しい現状である。また、参加者がもう少し団体のミッションに理解を深めた上で、参加しやすいしくみを作りたい。そこで、「せんだい CARES」といって、強化月間を設け、市民が参加しやすくなるようなしくみを計画した。

(iii) 勉強会 / 研修会プログラムの提供

今回試験的に実施したプログラムだが、今後も、それぞれの企業のニーズにあったプログラムの提供ができるようにさらに内容の吟味を行っていききたい。

(iv) 地域貢献活動相談センター

当センターでは、2003年3月より新たに、「地域社会に貢献したい。」と考えている市民や企業の方々からの相談に応じる「地域貢献活動相談センター」を同事務所内に設置した。地域社会貢献に関する様々な相談を受け付け、当センターの「NPO情報ライブラリー」登録団体の情報を提供したり、地域貢献活動プログラムの提案をしていく予定である。その際には、本事業で得た様々なノウハウを生かした対応ができるのではないかと考えている。企業や市民の社会貢献への相談・ニーズに応えていくとともに、さらに地域のNPOがどんな活動をしているかを紹介し、NPOの信頼性を高めていけるよう支援していきたいと考えている。

人財サポートシステムの開発プロジェクト 事業一覧

研究会	企業ボランティア研修プログラム	NPOボランティア マネジメントプログラム	調査
2002/7/26(金) 15:30~17:00 第1回	wg1 2002/8/30(金)18:30~21:00 「企業におけるボランティア活動支援システムと社員のボランティア活動による企業メリットについて」 講師:(社)日本経済団体連合会 社会本部 長澤恵美子氏		
	wg2 2002/9/26(木)18:30~21:00 「リコーにおける環境ボランティア推進のしくみとその成果」 講師:(株)リコー 社会環境本部 河原恵美氏	ws1 2002/9/11(水)18:00~21:00 「NPOのためのボランティアマネジメント」 講師・ファシリテーター:ワークショップ・ミュー 青木将幸氏	
	wg3 2002/10/3(木)18:30~21:00 企業でのボランティア入門講座研修内容について検討	ws1 2002/9/20(水)18:00~21:00 「NPOのためのボランティアマネジメント」 講師・ファシリテーター:ワークショップ・ミュー 青木将幸氏	
	wg4 2002/10/21(月)18:30~21:00 企業でのボランティア入門講座研修内容について検討		
	wg5 2002/11/7(木)18:30~21:00 企業でのボランティア入門講座研修内容について検討		ボランティアマネジメント実態調査 アンケート調査
	wg6 2002/11/28(木)18:30~21:00 企業でのボランティア入門講座研修内容について検討		ヒアリング調査 (15団体)
	wg7 2002/12/10(木)17:30~17:30 企業でのボランティア入門講座研修内容について検討		
	2002/12/21-22(土・日)体験イベントボランティア		
		2003/1/15(水)18:00~21:00 「企業人を活かすボランティアマネジメント」 講師:Vマネジメント 松本修一氏	
	勉強会 2003/2/1(土)13:30~16:30 「会社に頼らない生き方」《ライフデザイン・キャリアプランを考える》講師:企画編集事務所「言葉工房」代表 吐山継彦氏		
	研修会 2003/2/5(水)12:45~15:00 「CSにつながるNPOとの連携と企業人のボランティア活動」~地域の課題を解決するNPOの視点から、顧客ニーズを学ぶ~ 講師:大阪ガス(株)人事部いきいき市民推進室 松井淳太郎氏 ゲスト:(特活)ウィクラブ 伊藤せい子氏		
2003/2/18(火) 15:30~17:00 第2回			2003/2 結果を集計・分析
全事業終了後、報告書とパンフレット作成(NPO向け、企業向け)			

(2) 地域貢献活動相談センターの設置

2003年3月より新たに、「地域社会に貢献したい。」と考えている市民や企業の方々からの相談に応じる「地域貢献活動相談センター」を同事務所内に設置した。

(3) みやぎ地球市民すくすく計画 2002 青年リーダーすくすくプログラム(市民プロデューサー養成講座)への講師派遣

2000年より講師派遣により関わりを持ってきたこの講座は、第3期生を迎えることとなった。今回は、NPOでのインターンシップ期間後に各自取組んでもらう企画を「ミニ企画」という名称で実施してもらった。そのためか、昨年に比較して100%近い企画が実施できた。

その結果、NPOを活動の軸とする若い人材を輩出することとなり、成果を上げることが出来た。

開催日：6月22日(土)・23日(日)	組織術を学ぶ
7月14日(日)	取材・調査術を学ぶ
8月31日(土)	企画・プレゼン術を学ぶ
9月28日(土)・29日(日)	資金調達・広報術を学ぶ
12月7日(土)	企画実践報告

講師：紅邑晶子 田中聡子

主催：宮城県(環境生活部青少年課人材育成班)

(4) まち美化に関する市民活動推進のための支援事業

今年で4年目を迎えたこの事業は、秋のキャンペーンへの参加者が急増した。なかでも、小・中学校からの参加が増えており、総合的な学習の時間のなかで、調査の手法を取り入れたキャンペーンが成果を上げてきたと言えるかもしれない。また、キャンペーン参加者が情報交換をする「アレマ会議」にも、町内会や中学校の生徒などの参加もあり、世代を超えた交流の場を提供することとなった。アレマ隊員養成講座にも、企業や行政関係の担当者が参加するようになり、本格的な取組みを検討してくれる状況が整ってきたように感じられた。

受託先：仙台市(環境局廃棄物管理課)

1. 全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーンの実施

5月19日(日)～6月9日(日)

9月28日(土)～10月14日(月・祝)

*企画・コーディネート

2. アレマ会議の実施

7月8日(月) 参加者数：28名

11月11日(月) 参加者数：39名

*企画・コーディネート

3. アレマ隊員養成講座の実施

8月1日(木) 参加者数:18名

3月4日(火) 参加者数:24名

*企画・準備・コーディネート

4. 仙台まち美化ネットワーク通信(アレマ新聞)の発行

発行日:10月25日(金)・3月10日(月)

*企画・取材・原稿作成・編集・レイアウト

(5) クリーン仙台推進員グループ学習会

受託先:仙台市環境局リサイクル推進課

日程:第1回 2002年9月27日 参加者数:45名

第2回 2002年10月22日 参加者数:37名

第3回 2002年11月21日 参加者数:32名

第4回 2002年12月19日 参加者数:40名

第5回 2003年1月21日 参加者数:33名

派遣講師:加藤哲夫

目的:「クリーン仙台推進員」(以下推進員という)の中には、活動への意欲はありながらも、具体的にどのような活動をしたらよいのかわからない、近隣推進員との接触が少ないなどの理由から具体的な活動に移れない推進員が少なからずいる。また、従来型の推進員全員を対象とした研修では、自律的な解決方法の立案、調査、研究を深めることが困難である。

そこで、一昨年度から実施しているワークショップ形式の学習会を開催し、地域で起こっているごみ問題について整理し、問題解決に向けた市民へのPR手法などを学習することにより、クリーン仙台推進員自身のスキルアップを図るとともに、推進員間のネットワーク形成を目指す。

成果:今年度のグループ研修は、前年度よりの参加者も目立ち、参加者同士が互いの知識の交換を進めるなど、学習会の雰囲気も回を重ねるに従って変化してきた。それなりに成果の上がったものになったといえよう。異動により昨年と代わった担当者との関係も、後半には大きく改善され、さまざまな相談が寄せられると共に、行政側の協力依頼に快く協力する姿も見られるようになった。実際に推進員が、自立して活動する姿が多々見られ、その活動に他の推進員も刺激をされるという「善循環」が起きてきていることは注目に値する。推進員の参加の増加は、プラスチックの分別導入などもあって、急速に市民の関心が高まっているときだけに、今後の施策展開にも機を逃さず迅速な対応が求められている。以下提案略。

(6) アクティブシニア・ビジネス支援事業

本事業は、県内在住の45歳以上の方々を対象に、これまでの経験や人脈・ネットワークを生かし、地域が抱える問題を解決する、地域を活性化するなど、地域のためのビジネスを新たに起こそうとする「起業家」を支援するために実施された新規事業。当センターの自主事業参加者や県内のNPO関係への呼びかけ、県政だよりでの告知などにより、18件の応募があった。

講習会及び相談会の実施にあたっては、事業計画・収支計画の内容もさることながら、審査のポイントとなる(i)地域の活性化に寄与するもの(ii)事業の新規性が認められるもの(iii)中高年者による起業家モデルになるもの、といった点を事業計画に十分に表現し、中高年層の新たなビジネスチャレンジへの支援となることを念頭に行った。特に相談会で留意した点はビジネスプランとしては未熟であっても、アイデア・意欲・モチベーション・地域貢献性など、応募者の持つ多様な視点を活かせるよう丁寧なアドバイスを行うことであった。また、ビジネスプラン作成などに不慣れな応募者に外からの視点をアドバイスすることで一層のレベルアップを図った。

受託先：宮城県（産業経済部産業人材育成課）

- 1) 募集用リーフの印刷原稿作成
- 2) 募集告知
 - ・ 募集告知案内文作成
 - ・ 送付先：223団体の発送先リストを提供
- 3) 事業実施に係る各種アドバイザー業務
 - ・ 申請書の構成・記入項目
 - ・ 事業認定方法(審査方法、審査基準等の認定プロセス策定)
 - ・ 事業周知に関する広報
- 4) 講習会開催（12月9日）
 - ・ 講師：当センター代表理事 加藤哲夫
 - ・ 参加者数：応募者18団体/個人のうち、12団体/個人（計14名）が参加
- 5) 相談会の開催（1月20日）
 - ・ 相談対応者：当センター 代表理事 加藤哲夫
 同上 常務理事 紅邑晶子
 - ・ 参加者数：6団体・個人（計7名）が参加
- 6) その他委託業務全般に関するコンサルティング業務

(7) 東北パートナーシップに向けての支援環境形成調査

東北6県における官民パートナーシップの現状と課題について調査する研究会「東北パートナーシップ研究ネットワーク」(代表:(協)プランニングネットワーク東北理事長 中橋 勇一氏)が主催した研究会に参加した。

秋田研究会

日時：2003年1月25日（土） 13：30～16：30

会場：イヤタカ（秋田県秋田市中通6-1-13）

- ・なぜ今パートナーシップが必要か
- ・NPOの抱える課題
- ・各県のシステム比較

盛岡研究会

日時：2003年2月21日（金） 13：30～16：30

会場：岩手県公会堂18号室

- ・これまでの経緯
- ・岩手県におけるNPOと行政の協働
- ・NPOと行政の協働についての討議

仙台研究会

日時：2003年3月5日（水） 13：30～16：50

会場：日専連ビープ 4F セミナーホールA

- ・南東北3県からの事例報告

研究会の成果物として「東北パートナーシップに向けての支援環境形成調査報告書」が、後日発行された。

(8) その他、自治体職員向け研修・講師派遣

自治体職員向け研修 40件

	研修名	主催	実施日
1	アレマ会議 アレマ隊養成講座 まち美化タウンミーティング アレマ合同会議	仙台市環境局廃棄物管理課	2002/7/8 8/1 8/26 11/11・3/4
2	みやぎ地球市民すくすく計画2002 「市民プロデュースー養成講座」「すくすく地球市民のつどい」	宮城県環境生活部青少年課	2002/(6/22・23)7/14・ 8/31・9/28・29・ 12/7・2003/2/1
3	地域NPO学会・みやぎNPOプラザ1周年記念 フォーラム「NPOの自立と資金支援のあり方」	地域NPO学会・宮城県	2002/7/13
4	「行政とNPOの協働」	山梨県企画部県民室県民生活課	2002/7/26
5	「NPOって何だべ」	東北経済産業局	2002/7/26
6	「住民協働ワークショップ」	(財)ふくしま自治研修センター	2002/7/31・8/27・ 9/11・25・10/2・10/29・ 11/12・11/20・12/3・ 2003/1/22・2/4・5
7	「NPOと行政」	(財)東北自治研修所	2002/8/1
8	全国ボランティア研究集会	山形県庄内集会まちづくり企画 三町合同勉強会	2002/8/3
9	喜多方市ボランティア活動支援センター設立準備会スーパーバイザー	喜多方市	2002/8/22
10	第17回地域づくり団体全国研修交流会宮城大会 仙台地域B分科会パネラー	地域づくり団体全国研修交流会 宮城大会	2002/8/30

11	「行政とNPOとのパートナーシップについて」	福島県教育委員会	2002/9/2
12	「市民活動と市民センターの新しい関係」	(財)仙台ひと・まち交流財団	2002/9/5
13	NPOマネジメント基礎集中講座	(財)せんだい男女共同参画財団	2002/9/13・14・15
14	情報化推進検討委員会学習会	会津坂下町	2002/9/24
15	グリーン仙台推進員グループ研修	仙台市環境局	2002/9/27・10/22
16	「東北六県行政課題研修」	(財)東北自治研修センター	2002/10/15・16
17	「効果的な組織運営を図る」	(社福)宮城県社会福祉協議会	2002/11/9
18	気仙沼NPOフォーラム		2002/11/9
19	「NPOとは？」	仙台市落合市民センター	2002/11/13
20	「若者と社会をつなぐ、地域資源開発と機会提供者の役割」	福島県商工労働部	2002/11/14
21	市民活動見本市	仙台市	2002/11/15
22	「ボランティアと市民センター」	(財)仙台ひと・まち交流財団	2002/11/15
23	グリーン仙台推進員グループ研修	仙台市環境局	2002/11/21・12/19
24	大河原おだづもっこ文化祭NPO基礎研修会	宮城県	2002/11/26
25	「住民参加による快適なまちづくりの実現について」	中央地区町会連合会	2002/12/4
26	「市民活動に関する学習会」	清瀬市	2002/12/8
27	アクティブシニア・ビジネスコンテスト審査会・相談会	宮城県産業経済部人材育成課	2003/1/8・20・2/24
28	福島市市民活動懇談会	福島市	2003/1/14・2/6
29	百年の杜づくり各区フォーラム (若林区・太白区・泉区・宮城野区・青葉区)	仙台市建設局百年の杜推進部緑化推進課	2003/1/23・30・2/12・13・21
30	会津坂下町まちづくりフォーラム	会津坂下町	2003/2/15
31	福島市市民活動懇談会	福島市	2003/2/25
32	NPO活動のためのマネジメント講座	奈良県	2003/3/9
33	せんだいエコ・チャレンジ実行委員会		2003/3/10・4/15
34	スポーツリーダー講習会	多賀城市民スポーツクラブ	2003/3/15
35	「参加と協働の時代における市民とのコミュニケーションについて」	国土交通省	2003/3/19
36	「市民のためのNPO」	佐賀市	2003/3/22
37	河南町職員研修会	河南町	2003/3/27
38	宮城県職員研修	宮城県	2003/5/14・21
39	仙台市職員研修	仙台市	2003/5/15
40	仙台市生涯学習課	仙台市生涯学習課	2003/5/20

(2) 仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営

【平成 14 年度報告 2002.4～2003.3】

1. 利用者総数は年間 44,344 人

平成 14 年度の総利用者数は 44,344 人、前年度比で 4,550 人増となった。内訳は、貸室 34,032 人、フリースペース 8,208 人、相談 1,579 人、視察・見学等 525 人。月平均では毎月 3,700 人ほどが利用しており、街中の気軽な市民活動の拠点として好評を得ている。

2. 幅広い分野の団体が利用

平成 14 年度の総利用団体数はのべ 7,639 団体となった。その活動分野別の内訳は、9 つの分野にわたって幅広く利用されていることがわかる。また、サポートセンターで蓄積している団体情報は 3,632 団体となった。

3. サポートセンター利用の内訳

サポートセンターの利用の内訳は、貸室やフリースペースなどの場の利用がメインとなり、情報利用など多様なサービスも幅広く利用されている。

4. 相談件数は年間 1,345 件

相談対応は年間で 1,345 件となった。市民活動相談では、個人や他機関への市民活動情報の提供が多くなり、新しい市民活動の立ち上げに関する相談や、活動実績のある団体からの運営に関する相談まで、様々な内容の相談が毎日窓口寄せられている。

5. 各種事業関連

(i) サポートセンターまつり事業（第2回市民活動カラフルフェスタ）

前年度より、多くの人に参加してもらえるように開催日を2日間から5日間に拡大して実施。その成果としては、参加数が増加し、他の団体の企画へ相互に参加できるようになって団体間の交流や連携が促進された。初企画である「ボランティア大相談会」ではボランティアをしたい人とボランティアがほしい団体とを結びつける機会提供ができた。

(ii) 人財育成事業

〔入門編〕講師の実体験をもとに自分が社会に対して何かをするためのきっかけを得ることができ、ボランティアとNPOという言葉の違いについて理解を深める内容を提供した。

〔ステップアップ編〕NPO法人化についての理解を深め、団体が抱える運営課題について具体的に学ぶことができた。その結果、参加者が本講座で得た知識を団体内で活用するなど、実践的な成果を生み出すことができた。

(iii) 市民活動起業講座事業

〔入門編〕次世代を担う若者を主な対象に実施し、起業という自発的なスタイルを通して、社会を変革していくという生き方を伝えた。

〔ステップアップ編〕漠然とした起業イメージを実際に明文化することによって、自分の持っている資源や足りない資源に気づき、具体的な起業に向けての第一歩となった。

6. さば談（利用者意見交換会）

サポートセンターのソフト面に対する利用者の皆様のご意見やご感想を伺うことができた。特にサポートセンターをどのように活用しているかなどについて、サポートセンターを拠点として活用している団体の方から直接話をしていただき、他の利用者の方に伝えていただけたことが大きな収穫となった。

7. 本町夏まつり

あいにくの雨模様につき、例年より人出はいまひとつだったが、“水ヨーヨー”にて賑わいづくりの協力ができた。本町商店街振興組合の皆さんには、7月に開催した市民活動カラフルフェスタにご協力いただいた経緯もあり、お返しに地域貢献につながればとスタッフ一同、力を合わせて臨んだ。

8. その他の取り組み

これまでの意見交換会でのご意見や日常お寄せいただいた利用者の声を反映し、年度内に対応しサービスの充実に努めた。

(i)受付窓口レイアウト変更

2002年4月1日より実施。1・2階窓口、情報サロンを主に変更。

(ii)ホームページ開設に伴う更新作業と内容の充実

毎月月末更新。2003年3月末にはサポートセンターの利用状況や過去の事業報告の更新も併せて行った。

(iii)防災キャンペーン

2002年10月～11月にかけて、貸室利用の際に窓口にて利用者へ避難経路のご案内を1ヶ月間集中して行った。

(iv)館内案内表示追加

既存表示に加えて、各貸室入口の表示の拡大、A棟・B棟・C棟への案内にカラー表示を追加、通路分岐点の補足表示、以上の3点をポイントに改善を図った。2002年2月26日設置。

(v)市民利用インターネット閲覧サービス開設準備

平成15年度から運用ができるよう、年明けから準備を始めた。新しい機器の導入に伴って、既存のパソコンのソフトについてバージョンアップも図った。

(vi)パンフレット改訂

初版の在庫残部の減少に伴って、増刷の際には改訂も併せて行った。

(vii)『ぱれっと』の内容リニューアル検討

平成11年8月に創刊した『ぱれっと』も40号を超え、これまでよりも一層読者のニーズに沿い、市民が必要としている市民活動のサービスについての情報提供に力を入れて検討を進めている。

(3)5周年記念事業

せんだい・みやぎNPOセンター5周年記念フォーラム

「中間支援組織」というわたしたちの挑戦 企画・実施

5周年記念・オープニングセレモニー

特別シンポジウム「10年後の日本とNPOの役割」

日時：2002年11月1日(金)13:00～16:30

会場：仙台市情報・産業プラザ 5F多目的ホール 参加者数：120名

出演：上野千鶴子氏 東京大学大学院人文社会系研究科教授

岡部 一明氏 東邦学園大学教授

大滝 精一 当センター代表理事、東北大学大学院経済学研究科教授

コーディネーター：加藤 哲夫 当センター代表理事・常務理事

交流会

日時：2002年11月1日(金)18:00～20:00

会 場：ビーブ地下 ベースメントシアター 参加者数：69名
NPOと日本の未来を語る・ラウンドテーブルディスカッション
日 時：2002年11月2日(土)13:00~16:30
会 場：ハーネル仙台2F 松島の間 参加者数：64名
出 演：川北 秀人氏 人と組織と地球のための国際研究所 / I I H O E 代表
佐野 章二氏 地域調査計画研究所代表
長澤恵美子氏 日本経済団体連合会1%クラブ担当
山岡 義典氏 (特活)日本NPOセンター常務理事
渡辺 元氏 トヨタ財団 プログラムオフィサー
コーディネーター：川村志厚 当センター理事、経営デザイン研究所代表
紅邑晶子 当センター常務理事・事務局長

・ MEMO ・

